

「若き息吹き」 No.1

## 【若き息吹き】

令和5年4月12日

3年ぶりに洲本実業に帰ってきました。3月に前校長先生との引き継ぎに訪れたとき、とても清々しい気持ちになりました。正門までの坂道で数人の生徒が立ち止まってお辞儀をして挨拶してくれたからです。洲本実業に戻ってくるのが楽しみにになった瞬間でした。



さて、4月当初は始業式、入学式、着任式、対面式と立て続けに行事がありましたが、それらはすべて出会いの場です。人はいかに出会いを大切にしているかが分かりますね。人は出会った人によって育てられるので、この洲本実業に集った仲間同士で切磋琢磨し合って成長して欲しいものです。

ところで、私が洲本実業から前任校の東灘高校へ転勤した3年前は、ちょうど新型コロナウイルス感染症が拡大した時期でした。学校生活に様々な影響をおよぼして、中学生だった皆さんもとても辛い思いをしたことでしょう。しかし、この5月には季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行し、学校における制限もかなり軽減することでしょう。まだ不安な面もあると思いますが、少しずついいのでのびのびと楽しい学校生活にしていきましょう！（マスクも自由です）

話は変わりますが、校長通信のタイトル「若き息吹き」は、知っての通り校歌の出だしの歌詞です。校歌の出だしはとても大事だと思います。そのあとに、「～新しき世は明けたり～」と続きますが、このフレーズは、新年度のスタートを切った私たちを新しい気持ちにさせてくれる歌詞だと思います。3年前は生徒が皆大きな声で校歌を歌っていました。早く皆さんの元気な「若き息吹き～」を聞きたいものです。そういった想いもタイトルに込めました。

この校長通信では、皆さんの活躍はもちろんのこと、様々な内容を発信していきますので是非読んでください。